
pokki-の詩

pokki-

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

p o k k i - の 詩

【コード】

N 2 1 0 0 D

【作者名】

p o k k i -

【あらすじ】

見た事のない詩の世界。僕が思うのは、ハゲたちがもっとも愛する君。

FILE：1 舞う星・君に告げる愛の歌・一心同体・願い（前書き）

これは、小説ではありません!!

FILE：1 舞う星・君に告げる愛の歌・一心同体・願い

舞う星

僕のとつても

大切な人

僕にとつて

君は希望

君がいなければ

僕はいない

君がいなければ

僕は僕ではない

風がふく

君が舞う

僕の頭を離れ

空高く…

君よ舞え

もつと舞え

風が君を

さらっていく

風に舞う君

愛しくて

風に舞う君

悲しくて

君はきつと

星になる

儂く綺麗な

星になる

僕はそつと

星に言う

「こーゆう頭もオシャレでしょ？」って

君に告げる愛の歌

君に告げる

愛の歌

心の奥に

秘めた思い

それはけして

届かない

僕は歌う君への思い

絶対届くことはない

僕は歌う

君のため

君にとつては意味がない

僕にとつては意味がある

僕は歌う

僕のため

僕は歌い続ける

いつまでも

君が僕の頭に

ある限り

一心同体

僕と君は一心同体

いつだって

絶対に

僕と君

君と僕

片時だって離れない

離れられない

君が居るから
僕が居る
僕が居るから
君が居る
君が居るから
僕の頭は温かく
僕が居るから
君の毛は髪で居れる
だから君と僕は一緒に居る
いつまでも
永遠に

願い

僕の願いは一つだけ
君がソバにいる
ただそれだけでいい
ただそれだけでいいはずなのに
きずくと君がいない
人混みの中に
か細く消える
君
僕は走りだす
君のもとへ
だけど君はもういない

広い広い空の下
鮮やかに君が
舞っている

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2100d/>

pokki-の詩

2010年12月29日02時16分発行